



総務企画警察委員会の審査



本会議（10月6日）

10月2日から5日まで審査が行われ、審査の経緯と結果について本会議で報告しました。今議会（9月議会）は、恒例で委員長に変わり副委員長が報告します。

委員会では、犯罪の多様化等に対応するための警察の体制強化、スポーツ行政を教育委員会から知事部局へ移管する組織改正案、また、しなの鉄道の脱線事故を受けて木製の枕木のコンクリート製への交換などの意見や要望が出されました。

委員会の現地調査

「地域発 元気づくり支援金」の取り組み、警察行政等を視察しました。

地域の自慢の眺望を生かした遊歩道、過疎地の生活などの困りごとを解決するボランティアツアー、伝統的な郷土食の復活、ソバなど地元農産物の6次産業化など、支援金を活用してNPO等の自主的な特色ある取り組みが各地で盛んに行われています。同時に、事業の定着や効果など、今後の検証も課題です。

（中南信6月27～28日、東北信8月31～9月1日）



シェアサイクルの視察（上田市 8月31日）

ミズーリ州と長野県の 友好交流懇談会

県議会関係者（正副議長、総務企画警察委員会正副委員長）として参加しました。

ミズーリ州知事を代表とする訪問団は、産業や経済の成長について紹介。そこで、働く人の年収などについて聞くと、平均約800万円とのことでした。日本も賃金を上げて経済を再生する改革が必要です。（長野市 9月9日）



「知事との県民対話集会」—— 信濃町

「持続可能な農業振興」がテーマで、地元のみなさんの活動報告はそれぞれ参考になりました。

もっとみなさんの問題意識や意見などお聞きしたいと思いましたが、開催時間1時間半では難しい感じでした。（8月8日）



給食無料化の署名 1万2723人筆を提出

「明るい県政をつくる県民の会」が、県と県教育委員会に小中学校給食費の無料化を求める署名1万2723人分を提出しました。2月に提出した一次分と合わせ、3万7965人分になります。

県民の会は、憲法26条が「義務教育はこれを無償とする」と定めていること、また子育て支援や少子化対策の柱として県と市町村が協力して無料化することを求めています。署名を受け取った内堀繁利教育委員長は「県としても、国に無料化を要望しながら、できることをやっていきたい」と述べました。（長野市 9月13日）



中央児童相談所で虐待問題など

中央児童相談所を訪ね、概況などうかがいました。管轄が6市6町6村と広大で、去年は2215件の相談があり、内1068件が虐待の事案です。夜間や休日の対応や困難な事例も増加するなか、職員も増員されましたが、若い職員のスキルアップなど、今後の課題や要望をお聞きしました。

（長野市 8月30日）



信濃教育会第137回総集会

パネルディスカッション「信州教育の明日を開く 外部から信州教育に期待すること」は、教育的良心や自由を愛し社会問題への認識も深めてきた長野県教育の歴史にも触れられ参考になりました。

（千曲市 8月1日）



畜産農家の危機

飼料等の高騰で経営がひっ迫している畜産農家から相談が寄せられ、実情や要望をお聞きしました。

かつてない畜産の経営危機に、支援策の抜本的な強化が必要です。

（飯田市 8月11日）

